

令和 7 年度第 2 回大阪府「難病患者ひなんサポーター研修会」 開催要領

1. 目 的

大規模災害の発生時に在宅人工呼吸器装着難病患者は移動が困難であることに加え、身体的にリスクがあることから在宅避難を余儀なくされる。とくに、中・長期の在宅避難となる場合、保健所等の地域の支援機関は難病患者の自宅等への避難が十分にサポートできない場合もあると予測される。

そこで、府内学生を、難病患者ひなんサポーター(以下、サポーター)として育成することにより、地域共助による在宅避難における支援体制の一層の強化を図る。

そのため、学生が災害時に難病患者の在宅避難を支えるための基本的な知識を学び、地域の一員として具体的な援助方法についてイメージを持つことができることができるよう、難病患者ひなんサポーター研修会を開催し、サポーターへの登録を促進する。

2. 開催日時

令和 7 年 11 月 15 日(土) 13:30~16:30

3. 会 場

グラングリーン大阪 北館 7 階 JAM BASE カンファレンス 7-2

4. 主 催

大阪府

5. 対 象

府内在住の大学生・専門学学生 70 名(18 歳以上。満 30 歳になる年度末まで登録継続可能。)

6. 内 容

■大阪府の難病患者の現況と被害想定による被害の特徴

大阪府 健康医療部 保健医療室 地域保健課 疾病対策・援護グループ 総括補佐 森本 和人

■講義 1 「今後想定される災害とは？」

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 准教授 紅谷 昇平 氏

■講義 2 「難病患者さんはどんな生活を送っているの？」

大阪急性期・総合医療センター 大阪難病医療情報センター 難病医療コーディネーター 野正 佳余 氏

■難病患者ひなんサポーター活動・登録のご案内

大阪府 健康医療部 保健医療室 地域保健課 疾病対策・援護グループ 副主査 藤原 直子